

令和8年度委託訓練（長期高度人材育成コース）

精神保健福祉士養成科 受講生募集要項
【対象者】

- ①～⑨のすべてに該当する方
- ① 公共職業安定所に求職申し込みを行い、受講指示、受講推薦又は支援指示が受けられる方
- ② 新規学卒未就職者（受講申込み時点で学校卒業後1年以上経過している方は除く）でない方
- ③ 有期労働契約などによる非正規雇用労働者など、就労経験において不安定就労の期間が長いことや、安定就労の経験が少ないことにより能力開発機会が乏しかった者又は出産・育児等により長期間離職していた女性等
- ④ 国家資格「精神保健福祉士」を取得し、正社員就職を希望する方
- ⑤ 精神保健福祉士養成科を修了し、対象資格等を取得する明確な意思を有する方
- ⑥ 公共職業安定所における職業相談において、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを受け、その結果訓練の受講が必要と認められる方
- ⑦ 過去に1年以上の公共職業訓練（委託訓練）を受講（正当な理由のない中途退校も含む）したことのない方
- ⑧ 大学卒業以上（これに準ずる方を含む）の方
- ⑨ 令和8年4月1日現在満50歳未満の方

【応募受付期間】

令和8年2月20日（金）～ 令和8年3月12日（木）

【応募方法】

次の書類等を住所地を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）の職業訓練窓口にて提出してください。
 なお、提出された書類等は返却しません。また、ハローワークと情報共有しますので、あらかじめご了承ください。

※ 提出書類に記載された個人情報、選考・入校等の事務以外には使用しません。

- ① 入校願書（写真 [タテ4cm×ヨコ3cm] が1枚必要です。）
- ② 大学等の「卒業証明書」又は「卒業証書」（いずれも原本を提出してください。）
 - ◇ 大学等卒業の確認のため、応募時にコピーを取ります。原本は返却します。
 - ◇ 姓の変更があった場合、証明できる書面（戸籍抄（謄）本又は新旧の氏名が記載された住民票の写し（マイナンバーが記載されていないもの））が必要です。
 - ◇ 合格時には再度原本の提出が必要となります。

【事前説明会】

訓練の受講を考えている方を対象に、訓練内容等の説明会を実施します。

名称	内容	実施日時	会場
① 職業訓練説明会 （ハローワーク主催）	長期高度人材育成コースの概要、精神保健福祉士養成科の訓練内容について説明が聞けます。その後、個別相談もできます。	令和8年2月27日（金） 13:30～16:00	ハローワーク廿日市 2階大会議室
		令和8年3月5日（木） 10:00～12:00	ハローワーク広島東 3階大会議室
② 事前説明会 （専門学校主催）	訓練を実施する場所・施設の確認ができ、カリキュラム等について詳しい説明が聞けます。	① 令和8年2月26日（木） 10:00～11:30 ② 令和8年3月6日（金） 14:00～15:30	専門学校 福祉リソースカレッジ広島 【電話】082-288-8804 ※駐車場なし

- ① 職業訓練説明会について
 - ※ すべて事前予約制です。※ ハローワーク広島東は駐車場がありません。
 - ※ ハローワーク広島東、ハローワーク廿日市は、訓練実施機関の参加を予定しています。
- ② 専門学校主催の事前説明会
 - ※ 専門学校福祉リソースカレッジ広島は、無料送迎が利用できます。
 - （①往きは広島駅北口9:40発、帰りは学校11:40発 ②往きは広島駅北口13:40発、帰りは学校15:40発）

【選考】

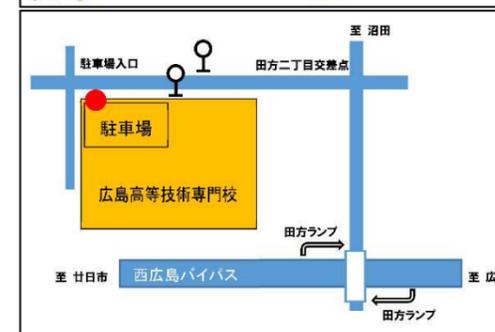
- 選考日：令和8年3月23日（月）
 受付 12:30 選考開始 13:00 選考終了 15:50（予定）
 ※ 受験票は発送しません。選考日に受験票を渡します。
 ※ 選考終了時間は、多少ずれることがあります。
- 選考会場：広島県立広島高等技術専門校 本館（広島市西区田方二丁目25-1）
 ※ 公共交通機関をなるべく利用してお越しください。
 ※ 駐車場はあります。（受付時間の30分前より利用可）
 なお、校内で生じた事故については、広島県では責任を負いません。

＜アクセス方法＞
バスでお越しの方

- ① 紙屋町方面からは
 広島バスセンターで広電バス
 「美鈴が丘高校」又は「山田団地」行き乗車
 「広島高等技術専門校前」で下車（所要時間約30分）
- ② JR西広島駅方面からは
 己斐バス停で広電バス
 「美鈴が丘高校」又は「山田団地」行き乗車
 「広島高等技術専門校前」で下車（所要時間約15分）

車でお越しの方

- ① 国道2号線（西広島バイパス）の田方ランプを出る
- ② 田方陸橋で県道71号方面（山陽道五日市IC方面）に曲がる
- ③ 田方二丁目北交差点（陸橋がある交差点）を左折
- ④ 左側のバス停の少し先に駐車場の入口があります
 ※ 駐車場利用は受付時間の30分前より利用可



- 選考方法：筆記試験（国語・数学）及び面接により、訓練の必要性等を総合的に評価し、可否を判断します。
- 携行品：筆記用具（鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、黒ボールペン）
 切手 [320円分]（選考結果通知用）
- その他
 - 発熱や体調不良の方は受験をお断りする場合があります。
 - 筆記試験の例題は下記 URL に掲載しています。
 広島県ホームページ内 (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/183/>)
 - 選考を辞退する場合は、必ず広島高等技術専門校とハローワークへご連絡ください。

【合格発表】

- 発表日時：令和8年3月27日（金）15:00
 ※ 時間は前後する場合があります。
 広島県ホームページ内 (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/183/>) と
 広島高等技術専門校の玄関前に合格された方の受験番号を掲示します。
 また、選考結果通知を特定記録郵便にて発送します。
 （選考結果開示可能）

ホームページ



◆◆問い合わせ先◆◆ 広島県立広島高等技術専門校 委託訓練担当
 〒733-0851 広島市西区田方二丁目25-1 TEL: 082-273-2294 FAX: 082-273-1777

（この訓練は広島高等技術専門校が学校法人古沢学園へ委託して行う公共職業訓練です。）

訓練コース概要

訓練科名	精神保健福祉士養成科	コース番号	HP01
訓練実施施設	専門学校 福祉リソースカレッジ広島	定員	5名
訓練実施期間	令和8年4月6日(月)～令和9年3月15日(月)(変更の場合有)まで (訓練期間：1年間)		
訓練実施時間	専門学校の授業時間割のとおり		
教科書等費用(税込)	82,000円程度(テキスト代、その他諸経費) ※精神保健福祉士国家試験の受験料、任意資格試験のテキスト代及びその受験料、その他個別に希望する実習等に係る費用は、別途、受講者の負担になります。実習施設への交通費は、受講あっせん区分に応じて受講者の負担になる場合があります。 ※3月31日午前12時以降の辞退は、教科書等費用を負担していただく場合があります。 ※入学金、授業料、実習費等は無料です。		

訓練目標	厚生労働大臣指定の精神保健福祉士養成課程のカリキュラムにより、精神保健福祉相談援助の知識及び実習・演習により実践に即した精神保健福祉相談援助技術を習得し、精神保健・福祉に関する専門的な知識と技術を具えた人材を養成する。
仕上り像	精神保健福祉士の資格を有し、専門的な知識・技術をもった人材として、精神科病院の相談員やその専門性を活かした職種への就職を目指す。
対応職種	精神科病院、精神障害者施設、医療機関における相談員、ソーシャルワーカーなど

科目	科目の概要	時間数
医学概論	人間の体の仕組みやサービス利用者の対象となりやすい病気やけが、そして、その回復過程とリハビリテーションの関りについて学び、その人らしい生活を考える。	30
心理学と心理的支援	人の心の動きやとらえ方について基礎的な知識の理解をはかると共に、対象者の理解や他の専門職との連携で不可欠となる利用者理解の姿勢を育む。	30
社会学と社会システム	対人援助職は、利用者理解もさることながら、その周辺の社会の動きについても理解が求められる。本講では、利用者は当然のことながら、援助者をも含む社会がどのような成り立ちになっているのかについて、科学的に見ることのできる視点を育む。	30
社会福祉の原理と政策	現代社会において、昨今、なぜ「福祉」が叫ばれるようになったのかを論理的に考える。社会福祉の歴史的展開について、諸外国と我が国の比較をとおして我が国の福祉政策の特性について整理する。また、動向を見つめなおし今後の課題を検討する。	60
地域福祉と包括的支援体制	地域共生社会の実現に向け、包括的支援体制・多機関協働の重要性を理解する。また、災害時等における包括的支援体制の重要性についても理解する。	60
社会保障	要介護者の安心した暮らしを支えるためには対人援助職として年金、医療をはじめとする社会保障制度についての理解が不可欠である。この講座では、要介護者が安心して生活を営むための社会保障について考える姿勢を育む。	60
障害者福祉	障害を有する人たちが地域での生活を営むためには、どのような支援が必要なのかという視点に立って、障害者自立支援法を中心とする障害者保健福祉サービスについて理解する。	30
権利擁護を支える法制度	認知症や精神疾患を持つ要支援者が安心して生活して行くためにも、法制度全般を含め、成年後見制度や日常生活支援制度を理解することが求められる。また、それがどのような内容なのかについて利用する側の視点に立って理解するように心がける。	30
刑事司法と福祉	今日の福祉サービスの対象は要介護の高齢者や障害者、成長発達途上の子どもや疾病を持つものに限られるものではない。刑事司法や少年司法とのかかわりをもったものが生活をいかに立て直すかも大きな課題である。生活の立て直しとそれにかかわる社会福祉士及び精神保健福祉士に求められる知識や技術について考える。	30
社会福祉調査の基礎	社会調査の意義や調査方法、調査に必要な質問用紙の作成について理解を図る。また、質問用紙を作成する際の諸注意について理解する。	30
精神医学と精神医療	代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援等を学ぶ。	60
現代の精神保健の課題と支援	現代社会の精神保健の課題及びその支援について学ぶ。	60
ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉士及び精神保健福祉士の意義や役割について理解を図ることを狙いとす。そのためには、対人援助職の沿革や業績を振り返りながら、今日のソーシャルワークの定義や論理綱領を取り直ける。更に、対人援助の理念として、人権尊重や社会正義、利用者本位などについて具体的な例を交えながら理解する姿勢を育む。	30
精神保健福祉の原理	精神保健福祉士の主な対象と社会の捉え方、精神障害のある人々が置かれている状況や環境・状況に対するソーシャルワークの展開を支える精神保健福祉士の存在意義について学ぶ。	60
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークを展開するための考え方を理論的に理解する。そのためには、先人たちの提唱するモデルやアプローチについても理解を図る。とりわけ、効果的な援助活動を展開するためには、面接技法、記録、スーパービジョン、個人情報保護などについての理解が欠かせない。本講では、具体的な相談場面を想定しながらソーシャルワーク活動の理解を図る。	60
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程、精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法、多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割などについて学ぶ。	60
精神障害リハビリテーション論	精神保健ソーシャルワークと精神障害リハビリテーションの関係を整理し、精神障害リハビリテーションの内容について学ぶ。SST(社会生活技能訓練)や認知行動療法に加え、マインドフルネス、オープンダイアログ、当事者研究などについても学ぶ。	30
精神保健福祉制度論	主に精神障害者に関する精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度や、生活支援に関する制度、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等の経済的支援に関する制度と概要と課題を学ぶ。また、それらの制度に規定されている精神保健福祉士の役割について学ぶ。	30
小計		780

訓練内容	ソーシャルワーク演習	良好な人間関係が築くためにはどのような事柄に留意しなければならないのかについて自らの体験を具体的に振り返り、ロールプレイなどの体験を通して対人援助の専門家の基盤形成を図る。併せてソーシャルワーク理論の手法や展開過程を学び、事例学習をとおして、実際にどのように展開されていくのかを理解する。スーパービジョンの意義や重要性を学び対人援助職としての自己点検、資質の向上に努めることを理解する。	30
	ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性(知識、技術、価値)の基礎を獲得し、諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義などについて学ぶ。	90
	ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習の展開に沿って行い、実習の目的と枠組みを整理し、実習に臨むうえで必要な基本的視点について学び、精神保健福祉士の実践現場である実習期間の概要を整理し、実際に現場に向く前に現場を理解するために必要な知識を学ぶ。	90
	ソーシャルワーク実習	講義等で総論的に得たものを各論的に体験し両者を統合して捉えることで、より深い学びに転化する。	210
小計			420
合計(訓練時間数)			1,200

※ 上記は、精神保健福祉士の資格取得に関連する科目の一部です。訓練実施施設はこの他にも訓練科目を設定しています。
 ※ 原則、補講は実施しません。やむを得ず補講(再実習・再試験を含む。)を実施した場合は、その費用を負担していただく場合があります。(事前説明会時に、費用負担額についてお知らせします。)
 ※ 土日祝に講義を行う場合があります。実習は、休日に行う場合や宿泊を伴う場合があります。
 ※ 詳細につきましては、訓練実施施設の行う事前説明会でお問い合わせください。

【注意】
 ■ 受講者の方は、精神保健福祉士の国家試験を必ず受験していただきます。
 ■ 国家資格「精神保健福祉士」の取得が不可能となった場合、正社員就職を希望していないと判断された場合、その時点で訓練終了となります。

専門学校 福祉リソースカレッジ広島

【所在地】安芸郡府中町本町二丁目1-17

【電話】082-288-8804

【交通手段】

- 「本町4丁目」バス停下車徒歩6分、「府中埃宮」バス停下車徒歩3分
- JR「天神川駅」「矢賀駅」下車徒歩15分

【入校日等】

- 入校前手続き日は、令和8年4月1日(水)です。
- 入校日は、令和8年4月6日(月)です。
- 入校前手続き日に大学等の「卒業証明書(原本)」(間に合わない場合、卒業証書のコピーを提出し、後日、卒業証明書を提出)、「履歴書」、「写真3枚(ﾀﾞｲ3cm×ｺﾞ2.5cm)」を提出してください。
- 補講費用(実費)は受講者の負担です。
- 再試験受験料1科目1,000円
- 制服はありませんが、入学式等の式典等ではスーツ着用です。
- 駐車場はありませんが、駐輪場(無料)はあります。
- 学校周辺に月極駐車場・コインパーキングがあります。

※ 入校日前に入校前手続き日(上記参照)があります。(必ず参加してください。)